

※2024年度秋期開講

【重要】注意事項

- 1) 本科目の履修には学費とは別途、フィールドワークのための費用がかかります。詳細は後述します。
- 2) 本科目ではフィールドワーク及びグループワークを実施します。ある程度時間を拘束されるため、スケジュールに問題がないことを確認の上、履修してください。
- 3) 履修希望の方は注意事項をご理解の上、履修志望書を提出してください。期限までに提出いただけない方は履修をお断りさせていただく場合があります。

前期の科目終了時アンケート結果は[コチラ](#)から参照ください

2025秋期休講

科目コード:29708

授業科目名	担当教員名	履修区分	配当年次	開講期	単位	DP対応
台日交流文化論	國府俊一郎	G:選 D:選	2	秋	2	準備中
科目概要						
台湾・淡江大学とビジネス・ブレイクスルー大学の双方による共同開講科目である。科目内では、ライブ、映像による講義形式の授業と、フィールドワークによる調査研究形式の授業の組み合わせで行う。講義、オンラインによる交流、現地での交流を通して、日本と台湾の社会及び文化に関する知見を高めると同時に、相互理解を深めることを目指している。						

	必須	推奨
事前学習科目		
事後学習科目		

学びの目的とゴール
・学びの目的: 日本と台湾の学生間の相互理解の深化と交流の促進を目的とする。具体的には、講義を通して、双方の政治・経済・社会・文化の各側面における基礎知識を習得した上で、歴史的観点からの双方の関係性を学び、Webディスカッションとフィールドワークを通して双方の交流促進を図る。 ・学びのゴール: 一連の科目活動を通して、日本と台湾の社会的・文化的価値の新たな発見につなげたい。また、様々な発見の中からお互いの価値を認識し、且つ高め合うことを科目のゴールとする。

評価の観点	評価割合	評価の方法
平常点	10%	受講認証を参考に総合的に評価する。
ディスカッションにおける発言	25%	各回のACにおけるディスカッション課題への発言内容と回数、クラスメイトとのかかわりを評価の対象とする。
フィールドワークへの参加(準備～実施)	35%	台北にて行われるフィールドワークに参加し、日台文化に関する知見を深める。フィールドワークは、準備段階から両大学受講生の交流があります。
最終課題	30%	最終課題(研究発表)の内容を評価する。

教科書	なし
参考図書	各講義資料の末尾で紹介します。

教員紹介

講師 國府俊一郎

大東文化大学 経営学部 経営学科 教授

ビジネス・ブレイクスルー大学客員教授

経歴

2005年 3 月 九州大学大学院経済学府 博士課程修了

2005年 8 月～2007 年 7 月 台湾 開南大学 応用日本語系 助理教授

2007年 8 月～2015 年 2 月 台湾 中華大学 国際企業系 助理教授

2015年 4 月～2020 年 3 月 大東文化大学 経営学部 経営学科 准教授

2020年 4 月 現在 大東文化大学 経営学部 経営学科 教授

■主な教育・研究業績

2017/04ー2020/03 人を活かすー台湾外食産業に進出する日本企業の現地人材活用についての研究 科学研究費補助金:研究代表者

2018/04ー2021/03 対外的広告活動の従業員への影響 科学研究費補助金:研究分担者

2021/04台湾においてサービス業に進出する日系企業に現地人材を定着させる人事施策の検討科学研究費補助金:研究代表者

【本科目の構成】

本科目は台湾淡江大学との共同授業です。

ディスカッション、台湾でのフィールドワークなど、科目全体を通じて淡江大学院生と共に学習し、日本と台湾の社会及び文化に関する知見を高めると同時に、相互理解を深めることを目指します。

(1)講義

(2)ライブ講義

#1 2024年10月5日(土) 11:00～12:00 (日本時間) オリエンテーション (※確定)

#2 2024年11月16日(土) 11:00～13:00 (日本時間) グループワーク最終課題発表 (※確定)

(3)課題:ディスカッション(個人)、グループワーク

(4)フィールドワーク

台湾フィールドワーク:2024年11月2日(土)～4日(月)

※詳細は、後述の「オリエンテーション・フィールドワーク・グループワーク最終課題発表について」を参照

(5)最終レポート提出

回数	学習内容	学習課題
1	オリエンテーション	ライブ講義:2024年10月5日(土) 11:00～12:00 (日本時間) 本科目の概要の理解とスケジュールの確認 自己紹介
2	基礎知識からみる日本と台湾 ～マクロ環境分析の観点から～	映像講義:國府先生 新しい場所(市場)に入っていくときに、知るべき情報にはどのようなものがあるか、政府が公表する統計データから考えていく。
3	台湾のエスニシティと言語	映像講義:富田先生 多様なエスニシティや言語が、時として緊張感をはらみながらも共存している台湾社会の現在について考える。

4	日本と台湾の歴史的関係	映像講義：國府先生 日本と台湾は、植民地時代から長い歴史の中で関係性を築いてきたことを踏まえ、時間を遡り、双方の繋がりを理解する。
5	日本統治期台湾の政治・民族運動	映像講義：富田先生 植民地統治下の台湾人の政治・民族運動が、民族的不平等の是正や文化的向上をめざしつつ、国際的な連帯をも志向するものであったことを理解する。
6	台湾と八重山	映像講義：富田先生 石垣島、西表島などの八重山と、日本統治期および第二次世界大戦後の台湾のあいだで歴史的に積み重ねられてきた人や物の移動について考える。
7	宗教観と社会の関係 ～台湾と日本の違い～	映像講義：國府先生 宗教観は人々の思考と行動に影響する重要なファクターである。日本と台湾の宗教観の違いとそれぞれの社会との関係を考える。
8	台湾と日本のビジネス交流	映像講義：國府先生 台湾には数多くの日本企業が進出している。海外進出をする企業は現地に適応して変化する。その例について外食産業を中心に学んでいく。
9	戦後の日本社会における台湾観 —1961年出版の3冊—	映像講義：富田先生 かつて日本政府は、「中国の正統政権」を主張する台湾の中華民国政府との間で外交関係を維持していた。この時期の日本で台湾がいかに論じられていたのかを考察する。
10	フィールドワーク	グループにて現地調査予定。 調査テーマ例： ・新住民 定住者や外国人労働者を広義の新住民ととらえ、台湾社会にもたらされた、あるいは現在進行形でもたらされている多様性を感じる ・博愛地区 街中の歴史的建造物を巡り、日本統治時代の遺産を知る ・龍山寺、孔子廟 有名な寺院だけでなく、町中の至る所にある土地神の廟を巡り、台湾の宗教文化を知る ・台湾の「老街」 台湾各地に見られる古くからの商店街を訪れ、今日の街づくりについてさまざまな角度から観察、調査をする
11	フィールドワーク	
12	フィールドワーク	
13	フィールドワーク	
14	フィールドワーク	

		・台湾に進出する日本の外食企業の現地化 台湾に進出している企業について、日本での味やメニュー、サービスなどを予習し、台湾での相違点を実際に5感で確かめ、どんな違いがなぜ生じるのか、考察する
15	成果発表会	ライブ講義: 11月16日(土) 11:00~13:00 (日本時間) フィールドワークで研究したものをプレゼンテーション形式で発表を行う。

※開講や課題出題のスケジュールは、別途配布している配信スケジュールを確認してください。

受講上の注意	
・使用言語: <u>日本語</u> ・フィールドワーク及び科目の内容は一部変更になる可能性があります。 ※単位認定には、顔認証による本人確認が必要です。 【淡江大学について】 ・1950年に設立。私学の最高学府として台湾最古の「淡江英語専科学校」を母体とする総合大学。 ・淡水、台北、蘭陽、サイバーキャンパスの4つのキャンパスに2万2千名余りの学生が在籍。 ・台湾で最も早くTotal Quality Managementのシステムを導入した大学として、教育、研究、運営管理、社会サービスの質の持続的向上に努め、2009年には「国家品質獎」を受賞。 ・多様性を重視し、「国際化」、「情報化」、「未来化」の「三化理念」を掲げ、世界に目を向け未来を創造する人材の育成に力を入れている。 淡江大学HP(中文): https://www.tku.edu.tw/ 淡江大学日本語学科HP(日本語): http://www.tfx.tku.edu.tw/japanese	

オリエンテーション・フィールドワーク・グループワーク・最終課題発表について
1. オリエンテーション 【日程】 2024年10月5日(土) 11:00-12:00 (日本時間) 【スケジュール/内容】 両校の紹介、教員紹介、科目説明、参加者自己紹介 ※予定 【参加方法】 オンライン 2. フィールドワーク 本科目のフィールドワークは、淡江大学院生とオンラインのみならず直接交流することにより、相互の考え方、文化、社会構造などをより深く理解することが目的です。 【実施場所】 台湾・台北市 他 【日程】 2024年11月2日(土)~4日(月) 2泊3日 【スケジュール/内容】※時刻はすべて台湾時間表記 11月2日(土) 集合時間: 13時 集合場所: 淡江大学 淡水キャンパス正門前(桃園空港からタクシーで1h、松山空港から1.5h) キャンパスツアーorBBT生のホームカミングデー出展のお手伝い 夜 懇親会(淡水エリア) 11月3日(日)

台北キャンパス起点
フィールドワーク(グループワーク)

11月4日(月)

現地ツアー(ガイド: 淡江大学富田先生)

集合場所: 9時半にMRT淡水駅

解散時間: **12時頃** 現地解散 ※各自で空港へ向かう

【費用】

■自己手配費: **計7~15万円程度** ※利用する航空会社やホテルにより大幅に料金が異なります

[内訳] ・自宅から台湾の現地空港+集合場所までの旅費(往復)

- ・現地宿泊費(2泊)
- ・海外旅行保険 (加入必須)
- ・パスポート
- ・食費 (懇親会費を**別途集金**します)
- ・フィールドワーク時の交通費
- ・その他私費など

※すべてご自身で手配いただきます

※パスポートを既にお持ちの方は、フィールドワーク期間終了までに**パスポート残存有効期間が6カ月以上あること**を確認してください。

※宿泊する宿は、2日目、3日目の集合場所に行きやすいよう、台北市内にて手配することをお勧めします。

※集合、解散の場所・時間にご留意のうえ、遅刻のないよう各自手配してください。

3. グループワーク最終課題発表

【日程】 **2024年11月16日(土)11:00-13:00** 日本時間

【内容】 台湾フィールドワーク時グループワーク最終課題の発表(プレゼンテーション)

【参加方法】 オンライン

安全管理に関する自己責任の原則

本科目は台湾でフィールドスタディツアーを実施します。したがって、日本国内と比較し、一般的に危険や病気、事故などに遭遇する可能性が高くなります。そのような可能性から自己の安全を守るためには、各自が最大限の対策を講じる必要があります。又、万が一、そのような危険な事態に遭遇した場合には、速やかに危険から離れることが求められます。

本学では、フィールドスタディツアーの準備と実施期間中、学生の安全を守るための配慮と施策、指導を可能な限り行います。しかしながら、本科目を履修する学生は各自が自分自身の安全に対し自覚と責任を持ち、適切な判断と行動を取ってください。

海外安全情報

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

※履修登録後、参加に関する「誓約書」を提出いただきます。また、未成年の場合には保護者による「同意書」も提出いただきます。

※その他 諸注意事項は履修登録確定後にお知らせします。

※シラバスは変更する可能性があります